

令和 7 年 12 月 22 日
令和 8 年 3 月 24 日改訂
気象庁 大気海洋部

配信資料に関する技術情報第 666 号

～線状降水帯予測マップの提供について～

概要

気象庁では、令和 8 年度出水期より、今後 3 時間以内に線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に、気象防災速報（線状降水帯直前予測）の発表を行う予定です。また、これを補足する情報として、今後 3 時間以内の線状降水帯による大雨のおそれのメッシュ情報「線状降水帯予測マップ」を提供します。

この線状降水帯予測マップについて、新たに GRIB2 形式による配信を開始することとしましたのでお知らせします。

1. 提供開始日時

令和 8 年度出水期を予定しています。日時が決まり次第、配信資料に関するお知らせにより別途お知らせします。

2. データの内容

令和 8 年度出水期より提供を予定する気象防災速報（線状降水帯直前予測）は、今後 3 時間以内に線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に一次細分区域を対象に発表する情報です。線状降水帯予測マップは、これを補足するものとして、今後 3 時間以内の線状降水帯による大雨のおそれをメッシュ情報で提供します。

線状降水帯予測マップは、降雨や土砂・洪水・浸水の危険度の実況・予測に基づいて、3 時間先までの線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域を、約 20km 格子で示した分布情報です。この分布情報により、気象防災速報（線状降水帯直前予測）が発表された際に、具体的にどの地域で線状降水帯発生のおそれがあるのかを把握することができます。

線状降水帯予測マップのより詳しい内容については別紙 1 をご参照ください。

3. ファイル形式とデータの概要

線状降水帯予測マップのファイル形式は、国際気象通報式 FM92 GRIB 二進形式格子点資料気象通報式（第 2 版）（以下 GRIB2）です。

日本国内の陸上を対象に地表面を約 20km 四方の領域（緯度 10 分・経度 15 分）に分割し、それぞれの領域で計算された線状降水帯による大雨のおそれの判定値が格納されています。

具体的なデータフォーマットについては別紙 2 を参照願います。

ファイル形式	GRIB2	
格納要素	線状降水帯による大雨のおそれの判定値	
格子系	格子系	等緯度経度
	配信領域	北緯 20 度～48 度、東経 118 度～150 度 (図 1 参照)
	格子の間隔	0.1666667 度 (緯度) × 0.25 度 (経度)
	格子の数	168 (緯度) × 128 (経度)
予報時間等	速報版解析雨量と速報版降水短時間予報による 3 時間先までの前 3 時間降水量の最大、及び 3 時間先までの土砂・浸水・洪水それぞれの危険度の最大による、3 時間先までの線状降水帯発生のおそれの判定値を出力	
作成頻度	10 分毎	
ファイルサイズ	5KB	

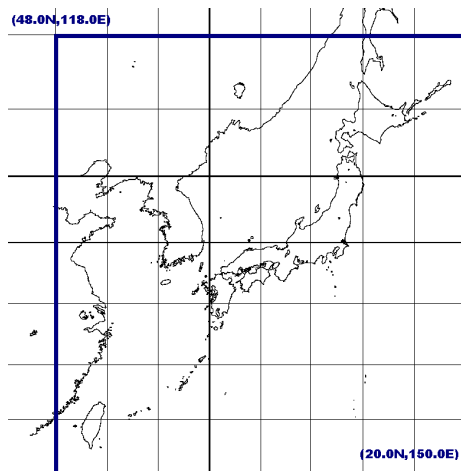


図 1 計算領域(計算対象は国内陸上格子)

データに格納される線状降水帯による大雨のおそれの判定値の意味は次のとおりです。

線状降水帯による大雨のおそれの判定値	意味
0	3 時間先までの線状降水帯による大雨の可能性が低い
1	3 時間先までの線状降水帯による大雨の可能性がある

4. ファイル名

- ・線状降水帯予測マップ

Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_GPV_Ggis20km_Pslmcs_Fper10min_FH0000-0300_grib2_bin

※ Z と C の間にはアンダースコアが 2 個設定されている点に注意してください。その他のアンダースコアは 1 個です。yyyyMMddhhmmss はデータの年月日時分秒を UTC (協定世界時) で表します。

5. サンプルデータ

サンプルデータは（一財）気象業務支援センターに提供しておりますので、必要な場合は同センターへお問い合わせください。

6. 利用にあたっての留意事項

別紙3をご参照ください。

7. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。

【改訂履歴】

○令和8年3月24日

- ・ 「線状降水帯予測マップ」を正式名称として確定。
- ・ 別紙1、別紙3を一部修正。

- 線状降水帯予測マップとは、今後3時間先までの線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域を、20km格子のメッシュ情報で地図上に表示したもの。
- 気象防災速報(線状降水帯直前予測)が発表された際に、具体的にどの地域で線状降水帯発生のおそれがあるかを視覚的に確認することができる。

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

- ・ 今後3時間以内に、線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に発表。
- ・ 一次細分区域を対象に発表。

〇〇県気象防災速報(線状降水帯直前予測) 第1号

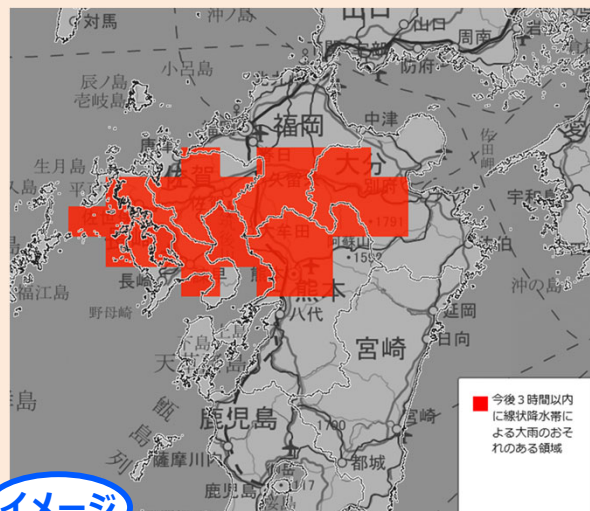
令和〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 気象庁発表

(見出し)

〇〇県●●(一次細分区域)では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

線状降水帯予測マップ

- 今後3時間先までに線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域をメッシュ情報で提供。
 - 文章情報の対象地域にあつては、線状降水帯発生のおそれのある領域を確認し、防災対応につなげていただく
 - 文章情報が発表されていない場合、メッシュ表示されている場合は線状降水帯発生のおそれがあることから、今後の防災気象情報に留意いただく



イメージ



イメージ

線状降水帯予測マップGPVに用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

(別紙2)

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット (バイトと同じ)	内容	表	値	備考
第0節	指示節	1~4	GRIB		"GRIB"	国際アルファベットNo.5(CGITT IA5)
		5~6	保留		missing	
		7	資料分野	符号表0.0	0	気象分野
		8	GRIB版番号		2	
		9~16	GRIB報全体の長さ		*****	
第1節	識別節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		1	
		6~7	作成中枢の識別	共通符号表C-1	34	東京
		8~9	作成副中枢		0	
		10	GRIBマスター表バージョン番号	符号表1.0	33	現行運用バージョン番号
		11	GRIB地域表バージョン番号	符号表1.1	1	地域表バージョン1
		12	参照時刻の意味	符号表1.2	0	解析
		13~14	資料の参照時刻(年)		*****	
		15	資料の参照時刻(月)		*****	
		16	資料の参照時刻(日)		*****	
		17	資料の参照時刻(時)		*****	
		18	資料の参照時刻(分)		*****	
		19	資料の参照時刻(秒)		*****	
20	作成ステータス	符号表1.3	T	0=現業プロダクト、1=現業的試験プロダクト		
21	資料の種類	符号表1.4	2	解析及び予報プロダクト		
第2節	地域使用節	不使用				
第3節	格子系定義節	1~4	節の長さ		72	
		5	節番号		3	
		6	格子系定義の出典	符号表3.0	0	符号表3.1参照
		7~10	資料点数		21504	128*168
		11	格子点数を定義するリストのオクテット数		0	
		12	格子点数を定義するリストの説明		0	
		13~14	格子系定義テンプレート番号	符号表3.1	0	緯度・経度格子
		15	地球の形状	符号表3.2	4	GRS80回転楕円体
		16	地球球体の半径の尺度因子		missing	
		17~20	地球球体の尺度付き半径		missing	
		21	地球回転楕円体の長軸の尺度因子		1	
		22~25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		63781370	
		26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		1	
		27~30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		63567523	
		31~34	緯線に沿った格子点数		128	
		35~38	経線に沿った格子点数		168	
		39~42	原作成領域の基本角		0	
		43~46	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に使われる基本角の細分		missing	
		47~50	最初の格子点の緯度	10**-6度単位	47916667	48N-(2/3)*(1/4)/2
		51~54	最初の格子点の経度	10**-6度単位	118125000	118E+(1/4)/2
		55	分解能及び成分フラグ	フラグ表3.3	0x30	
		56~59	最後の格子点の緯度	10**-6度単位	20083333	20N+(2/3)*(1/4)/2
		60~63	最後の格子点の経度	10**-6度単位	149875000	150E-(1/4)/2
		64~67	l方向の増分	10**-6度単位	250000	1/4
		68~71	j方向の増分	10**-6度単位	166667	(2/3)*(1/4)
72	走査モード	フラグ表3.4	0x00			
第4節	プロダクト定義節	1~4	節の長さ		34	
		5	節番号		4	
		6~7	テンプレート直後の座標値の数		0	
		8~9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4.0	0	テンプレート4.0
		10	パラメータカテゴリ	符号表4.1	1	湿度
		11	パラメータ番号	符号表4.2	220	
		12	作成処理の種類	符号表4.3	0	解析及び予報(解析=0で代表設定)
		13	背景作成処理識別符	符号表JMA4.1	150	長時間予報ルーチン
		14	予報の作成処理識別符		missing	
		15~16	観測資料の参照時刻からの締切時間(時)		0	
		17	観測資料の参照時刻からの締切時間(分)		10	
		18	期間の単位の指示符	符号表4.4	0	分
		19~22	予報時間		0	
		23	第一固定面の種類	符号表4.5	1	地面または水面
		24	第一固定面の尺度因子		missing	
		25~28	第一固定面の尺度付きの値		missing	
		29	第二固定面の種類	符号表4.5	missing	
		30	第二固定面の尺度因子		missing	
		31~34	第二固定面の尺度付きの値		missing	
		第5節	資料表現節	1~4	節の長さ	
5	節番号				5	
6~9	全資料点数の数				21504	128x168
10~11	資料表現テンプレート番号			符号表5.0	200	格子点資料-ランレングス圧縮
12	1データのビット数				8	
13~14	今回の圧縮に用いたレベルの最大値V				V	Vは可変(<=M)
15~16	データの取り得るレベルの最大値				10	(=M)
17	データ代表値の尺度因子		X	X:通報する代表値は10**X倍されている。		
16+2xm~ 17+2xm	レベルmに対応するデータ代表値を繰り返す(m=1~M)		R(m)	m=1~M、レベル0は欠測値(海上)		
第6節	ビットマップ節	1~4	節の長さ		6	
		5	節番号		6	
		6	ビットマップ指示符		255	ビットマップを適応せず
		7	資料節		7	
第7節	資料節	1~4	節の長さ		*****	
		5	節番号		7	
第8節	終端節	6~nn	ランレングス圧縮オクテット列		D	資料テンプレート7.200で記述された形式
		1~4	7777		"7777"	国際アルファベットNo.5(CGITT IA5)

(注) 値が「missing」の場合そのデータは全ビット1の値、英数字の変数名や「*****」は可変を示す。
 (注) 負の値は最上位ビットを1にすることにより示している。

【参考】202X年X月X日現在のレベル値と代表値

レベル値	代表値	意味
0		欠測値
1	0	(線状降水帯による大雨のおそれの判定値0)
2	10	(線状降水帯による大雨のおそれの判定値1)
3	20	(予備)
4	30	(予備)
5	40	(予備)
6	50	(予備)
7	60	(予備)
8	70	(予備)
9	80	(予備)
10	90	(予備)

レベルに対応する代表値は、必ずGRIB2通報式に埋め込まれたものを利用すること(なお、提示後に変更する可能性がある)

線状降水帯予測マップの利用にあたっての留意事項

- (1) 線状降水帯予測マップは、気象防災速報（線状降水帯直前予測）を補足する情報です。気象防災速報（線状降水帯直前予測）が発表されたときに、線状降水帯発生のおそれのある領域を線状降水帯予測マップで確認し、防災対応につなげていただく、といった利用が有効です。また、気象防災速報（線状降水帯直前予測）が発表されていない場合、メッシュ表示されている場合は線状降水帯発生のおそれがあることから、今後の防災気象情報に留意願います。
- (2) 気象防災速報（線状降水帯発生）や気象防災速報（線状降水帯直前予測）の発表基準を下回り、線状降水帯予測マップにおける大雨のおそれのある領域の表示がなくなっても、その瞬間から安全になるわけではありません。断続的に表示されたりされなかったりすることもあります。

避難などの判断への利用やその解説にあたっては、線状降水帯予測マップにおけるメッシュ表示の、時間的・空間的な範囲を厳密に捉えすぎることなく、大雨による災害発生の危険度が高まっている地域や時間帯に着目することが重要です。
- (3) 大雨に関する防災気象情報は、危険度の高まりに応じて段階的に発表されます。線状降水帯に関する情報だけを待つことなく、警報やキキクル等の警戒レベル相当情報を活用してください。